

体育活動時等における事故対応テキスト 「ASUKAモデル」

～一層の浸透・普及・啓発を図り、児童生徒の安全を確保する！～

健康教育課

1 はじめに

平成23年9月29日、さいたま市立小学校6年生桐田明日香さんが駅伝の課外練習中に突然倒れ、翌日に死亡する大変悲しい事故があった。児童生徒を毎日、元気な姿で家庭にお返しすることを、教職員一人ひとりが心に刻み、リスクマネジメント、クライシスマネジメントに努めるための教職員研修用テキストがASUKAモデル(H24.9.30)である。

詳細については、さいたま市 Web ページの「ASUKAモデル」のバナーをクリック。関連リンクを経由し、YouTube にアップされている PR 映像を参照。

2 内容

(1) 日常における重大事故の未然防止

- ①教職員等の危機管理に関する意識や資質の向上を図る訓練及び研修の実施
- ②各学校における危機管理体制の整備
- ③児童生徒への健康管理に関する指導

(2) 体育活動時等における重大事故の未然防止

- ①指導者全員が、チェックリストにより、ブリーフィングを実施（指導開始前・終了後の1分間程度の最終打ち合わせ）

(3) 重大事故発生時における対応

- ①第一発見者としての対応（右図参照）

ア 傷病者の状況把握

【わからないときには次の行動に進む】

イ 応援の要請

ウ 心肺蘇生の実施

- ②応援者としての対応

ア 指揮命令者（応援者への指揮命令）

イ 管理職及び教職員（「指揮命令チェックシート」による確認）

ウ 養護教諭 等（「傷病者発生時における判断・行動チャート」による確認）

エ 教職員（AEDを含む重大事故発生時携行機材等の手配、救急車の要請、保護者への連絡、周囲にいる児童生徒の誘導、救急車の誘導、児童生徒の状況及び対応の記録）

(4) 事故発生後の対応

- ① 事実確認と分析



- ② 傷病者の保護者等への対応

3 おわりに

ASUKAモデルが広く活用され、多くの児童生徒の元気な笑顔につながるよう、さいたま市立学校への浸透はもとより、国内外からの視察に積極的に対応するとともに、ASUKAモデル解説(H26.1.31)及びDVD(H27.3)により、一層の普及・啓発に努めていく。